

スカウトみやぎ

2018 / 12. 1
No.48



そなえよつねに
ボーイスカウト



特集：17NSJ参加記

第9回仙台地区キャンボリー



感謝の心

17 N S J 宮城県連盟派遣団長
和田 剛 和

今回のジャンボリーでは県連盟の関係する皆様には、大変お世話になりありがとうございました。笑顔と高揚感で大きく手を振りながら珠洲から帰路についた全員の姿に派遣団長としてまずは安堵いたしました。



当県連盟の参加者が恙なく成功裡にジャンボリーを終了できたことは、ひとえに県連盟の皆様の献身的なご努力があつてのことと、改めて心より深く感謝申し上げます。

私事ではありますが、近々の大会や指導者訓練等にも奉仕をしていなかったこともあり、自分のスカウトとしての経験に恥じないように、今回のジャンボリーに励んで参加さ

せていただきました。

しかし、いま振り返ると気負い過ぎて、本当に全ての皆様へ心くばりが出来ていなかったのではないかと思います、また不手際やご迷惑をお掛けしたのではないかと反省しております。

派遣団長として不徳の致すところも多々あり、心より深謝申し上げます。

来年開催予定の県キャンボリー、そして間近に迫る第13回日本アグーナリーさらには宮城県で行う予定の第6回北海道東北キャンボリーに向けて、県連盟理事長としての県連運営においても気負いせずしっかりと心くばりした参画をしていきたいと存じます。

県連関係の皆様には今後とも、闊達なご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

また、県連盟への益々のご支援ご協力をお願いいたします。

スカウトの皆さんには「感謝の心」を忘れず、次への夢を広げてください。

そして、その実現のためにもたくさんの経験に挑み、努力をしてみてください。

指導者の皆様には常にアンテナを広げ、スカウトの皆さんにたくさんの経験の機会を与えていただければ幸いです。



第 17 回日本スカウトジャンボリーに参加して

宮城第 1 隊 隊長 佐藤憲明（仙台第 1 団）

17NSJに参加を決めていた昨年「来年の17NSJ派遣隊長決まったぞ、佐藤！」と地区コミッショナーグループから聞かされた時には正直驚きました。原隊隊長就任2年目、ジャンボリー派遣隊経験（東京連盟より15NSJ派遣隊副長）1回しかない私で務まるのかと。歳を取るたびに1年が短く感じると思いますが昨年の9月から17NSJ関連の準備を始めたと思っていたらあつと言う間に8月9日の閉会式を迎えておりました。

今年、日本列島は灼熱異常気象に見舞われていましたが、会場入りしこれは大変だと感じました。スカウトも同じ気持ちではなかったでしょうか。高温多湿、おまけに日影がほとんど無い！常日頃は環境の整った場所で生活をしている私たちにとって、6泊7日の野営で乗り切られるのかと。派遣隊長としては、事故・けが・病気などなくスカウト達には大会を楽しんで無事に帰還させるとの思いは有りましたが、この環境下で体調を崩し精神的に不安になるスカウトが発生してしまいました。しかし、サブキャンプスタッフ、副長・ベンチ



ャー隊のサポートにより閉会式まで全員乗り切ることが出来ました。

ジャンボリー中の皇太子殿下行啓では、宮城第1隊サイト横の通路をご移動されスカウト数名に直接お声掛けをされました。一生に一度あるかないかの経験をして心に残ったスカウトも多いことと思います。また、スカウトは各種プログラム、夜の他県との交流会に参加し楽しんでくれた



と思います。改めて人と人とのつながり、人に対する感謝の気持ち、ボーイスカウト活動の意義をより一層理解確認ができ、いろいろな意味で成長する事が出来た第17回日本スカウトジャンボリー参加でした。

17NSJに携わっていただいた多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

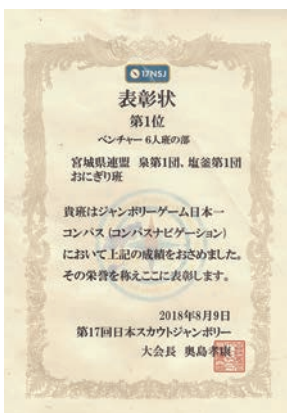
かけがえのない時間を過ごした宮城第2隊



宮城第2隊 隊長 安倍毅彦（鹿島台第1団）

石川県珠洲市「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」に集いし宮城第2隊32名の仲間たち。「みんな笑顔で楽しく元気に活動しよう！」を目標に17NSJに参加した。宮城第2隊は宮城県連盟東部地区に所属する泉第1団、泉第2団、塩竈第1団、鹿島台第1団のスカウト、リーダーからなる混成隊である。ずんだ班7名、しばふ班6名、ワールド班7名、おにぎり班7名、リーダー5名の宮城第2隊のほとんどがジャンボリー未経験のなか、BRAVERYサブキャンプのゲートをくぐった。日を追うごとに結束がより固まっていく宮城第2隊。昨日よりも今日、今日よりも明日と改善が進んでいく班サイト、そして逞しさを増していくスカウト、笑顔が増えていくスカウト、本当に頼もしい限りであった。

スカウトたちに疲れが見え始めたジャンボリー中盤、隊長から元気回復のために半日間の休養を指示されサイト外への外出を禁じられ不満この上ないスカウト達は、こともあろうかサイト入口に「記念品交換所」なるものを設置し、通りかかる他県のスカウトを呼び止めて記念品の交換を始めた。これが大盛況となり休息どころではなくなってしまったのだが、本当にスカウト達の「底力」には驚かされた。



そして極めつけが「ジャンボリーゲーム日本一コンパスナビゲーション」部門でおにぎり班が「日本一」という名誉に輝いた。コンパスナビゲーションはシルバコンパスを用いて指示書に記された方位角に従い、ポイントに進み、カードに書かれた文字を記録するというゲームであるが、おにぎり班全員が互いにチェックしながらゲームに臨んだ結果であった。

連日の猛暑のなか、笑顔いっぱい元気な抜群のチームワークでジャンボリーを楽しんだスカウト達、真っ黒になり一人一人がベストを尽くしたスカウト達、それぞれがかけがえのない時間を過ごした宮城第2隊である。今後のスカウト達のさらなる活躍に期待し、宮城第2隊をご支援いただいた皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

ジャンボリー ありがとう！

宮城第3隊 さくら班 本多 葵（石巻第6団）

「Oh!Scout Jamboree!」

ジャンボリーから帰ってきた私はまるで玉手箱を開けてしまった浦島太郎のように気がぬけてしまい、毎日机の上に仲間と交換した記念品を並べジャンボリーの大会ソングをくり返しくり返し歌っています。私の今までの13年間の人生において、あんなにもすばらしい時間はありませんでした。家を離れて1週間も外泊するのは初めてのことで解放感と不安の入り混じった気持ちで参加したのですが、ジャンボリーの後半には不安はどこへやら、「あと1カ月続けばいいな!」というのが正直な気持ちです。

スカウトのおきては8つありますが、今まではあまり深くそれについて考えたことはありませんでしたが、今回はこの8つを改めて実感しました。スカウトたちは責任を持って仕事をし、どの場面でも互いを尊重し助けあっていました。規則正しい生活をしどの人も親切でした。たくさんの人が大声であいさつを交わし、明るく接してくれたので私も笑顔で元気に1週間を過ごせました。

また、こんなことがありました。ジュピターエリアでのプログラムのとき2つとも優勝することができ、班員みんなで大喜びをしました。それぞれの活躍を褒められていた時、班長がまさかのかき氷をおごってくれるという行動にでました。みんなは半信半疑でしたがプラザに連れていかれ、かけ放題のシロップをかけるときに、うれしさがこみ上げてきました。



私はプラザのかき氷の存在は知っていましたが、自分では買っていなかったのが大感激でした。長と呼ばれる人はこういうとき、自分からご馳走して仲間の活躍を労うのだと思いました。とても暑い日だったので本当においしかったです。

さあ、4年後は東京です。私はこれから部活動や習い事で一層忙しくなると思いますが、がんばってボーイスカウト活動と両立させ高2の夏を東京で過ごしたいと思います。

最後になりましたが連れて行ってくださったリーダーのみなさん、まとめてくれた班長、支えてくれた班員のみなさん本当にありがとうございました。

そしていろいろな経験をさせてくれたジャンボリー ありがとう！

東 部 地 区 の 活 動

地区合同ビーバーランド・カブラリー開催！

9月2日、地区のビーバースカウト・カブスカウト（見学者含む）60名で、東松島市にリニューアルオープンした松島自然の家で開催しました。

ビーバー隊は「宮戸島にいる神様のお手伝い」のタイトルで、自然の家から月浜海岸までハイクです。ハイク途中に出会った「海苔の神様」と「牡蠣の神様」の願いを叶えるために浜辺で元気に活動しました。

カブ隊は奥松島探検として、指令書と地図に従ってハイクし、途中のポイントでの課題をクリアしながら月浜海岸まで歩きました。

途中では宮戸島の無形文化財はなにか？歩測による計測やコンパスを使った課題などを行いました。優秀組となったカブ隊はハイク中にスカウトからの提案でみんなでゴミ拾いをしてくれました。これからも東部地区のみなで会えるのが楽しみです。



地区合同くまキャンプ開催！



10月21日～22日、大崎市鹿島台学童農園で参加スカウト7名で開催しました。

くまキャンプは、1泊2日の野営でボーイ隊のキャンプを体験することでカブスカウトの集大成と、ボーイ隊への上進意欲向上などの目的を含んでいます。

指導者のサポートを受けながら、楽しいキャンプをしてもらいました。

そして、今後も一緒に活動すると思われる同級生スカウトの友情を深めて貰えればと思います。

この日はボーイ隊の地区合同キャンプも開催されており、キャンプファイアや食事を一緒にすることも出来ました。

自分たちも来年はボーイ隊になるんだという目標と憧れを持ってもらえたと思います。

『仙台地区創立50周年記念』

第9回仙台地区キャンポリー



仙台地区では、約5年ごとの節目に記念のキャンポリーを開催して、各団相互の交流を深めてきましたが、東日本大震災により中断していました。

ラウンドテーブルでBS・VS指導者よりジャンボリーに参加出来ないスカウトの為に地区として合同キャンプを開催して欲しいとの要望があり、平成20年に第8回を松島自然の家で開催して依

頼10年ぶりに、9月15日～17日の2泊3日で南蔵王野営場で開催することになりました。

参加団は仙台1団・28団・35団・名取1団・岩沼1団の5ヶ団で、参加隊は指導者12名・BS29名・VS3名で44名・運営本部12名（地区SC2名含む）合計60名でした。

プログラムは指導者の要望で進級に必要な課目を取り入れ、開村式終了後「手旗信号」をクラス分けをして基本から指導、夜のプログラムでは「ネッカリング作り」・「マッチの防水加工」・「読図」・「外国旗及びその国のスカウト章を5ヶ国以上見分ける」の4コーナーを回りながらスカウトは課題を学んだ。



2日目は白石スキー場での往復課題ハイキングに挑戦、スタートは「①手旗」解説で第2ポイントの指示、解説できた班から出発し「②座標」・白石スキー場で昼食休憩・「③計測」・「④座標」・「⑤ロープ」・「⑥暗号」

と6ヶ所のポイントで課題をクリアして、全員無事に野営場に帰ってきました。

夜は全員で「大営火」、野営管理技能賞を取得希望するベンチヤースカウトに企画運営を任せ、火の神の入場で点火、全体ゲーム・歌・スタント・各班の出し物等に大いに盛り上がり、各団の交流も深まり最後の夜を楽しみました。

2泊3日と短期間のキャンポリーでしたが内容が濃く、ここで経験した技能や体験した事を原隊に持ち帰り、参加出来なかったスカウトやこれから上進してくる後輩スカウトに伝えて欲しいと思います。

（渡邊：記）

ボーイスカウト募集中



保護者の皆様へ

なろう。一人前に。一人前って意外とむずかしい。
 自分のことは自分です。困難に立ち向かえる。
 こまってる人の助けになる。そんな自分になるために。
 そんなえよつねに“ボーイスカウト”
 ボーイスカウトとは、仲間たちと自然の中で
 遊びながら、いろいろなことを身につけて、
 より良き社会人を目指す活動です。

お問い合わせ先

□ 県連ホームページタスクチームからのお知らせ

平成25年7月に開設した県連ホームページには、
 多くのアクセスをいただいております。
 今後も県連行事を始め各地区・各団の活動をアップしていきますので、
 情報をお寄せください。
 Facebookの情報もご覧頂き「いいね!」「シェア!」を拡散してください。

◇ 県連HP <http://www.scout-miyagi.jp/>

◇ 県連Facebook ボーイスカウト宮城県連盟



検索

■ 編集後記

◇ スカウト89名、指導者18名そして、運営スタッフ15名が参加したテーマ「能登のチカラ未来へ」の「17NSJ」が無事に終わりました。

また、会場内に県連展示ブースを設け、県連の活動資料や「むすび丸」などの七夕飾りやポスターを掲示して、本県の観光PRを行い大勢の来場者がありました。

K・S

■ 表紙写真説明

◇ 「17NSJ」での活動の様子。

■ 発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟

■ 発行者 理事長 和田剛和

■ 編集 宮城県連盟組織拡張広報委員会

委員長 佐竹孝喜

委員 鈴木美恵子 松本康男

富士原孝一 千葉有三

柿沼富雄 大沼繁雄 渋谷純

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号

(宮城県多賀城分庁舎内)

TEL 022-355-6265 / FAX 022-355-6267

E-mail bs-miyagi@r6.dion.ne.jp